



オンライン資格確認の現状と 医療DXの行方

日時 2022. **7.1** Fri 12:40-13:40

会場 **第3会場** 岡山コンベンションセンター
1F イベントホール東

座長

東京大学医学部附属病院
企画情報運営部

土井 俊祐 先生

演者

兵庫県立大学大学院
情報科学研究科

竹村 匡正 先生

「医療DXと
あるべき社会基盤」

演者

PHC株式会社
メディコム事業部

瓜田 耕一 氏

「オンライン資格確認の
現状と今後の取り組み」

令和3年10月にマイナンバーカードと健康保険証を利用した「オンライン資格確認等システム」が稼働した。これは新たな日常に対応するための「データヘルスの集中改革プラン」の基盤となるものである。ACTION1「全国で医療情報を確認できる仕組みの拡大」、ACTION2「電子処方箋の仕組みの構築」、ACTION3「自身の保健医療情報を活用できる仕組みの拡大」が効率かつ迅速に、集中的に推進するため、その準備が着々と進められている。

本セミナーでは、オンライン資格確認の最新状況を報告すると共に、診療所向けレセプトコンピュータと電子カルテシステム、並びに電子薬歴システムにおいてトップクラスのシェアを維持するメディコムならではの方式である“All in one”の狙いとその効果について導入事例を交えて解説する。また電子処方箋や医療情報連携などのデータヘルスの集中改革に対する今後の当社取り組みについても紹介する。

さらに、オンライン資格確認のマイナンバーカードと顔認証による本人確認のしくみにも着目し、地域連携や自治体等で共存する個人IDの連結や統合を中心とした、あるべき社会基盤について課題提起をすると共に、PHRを中心とした自治体のデータ利活用の取り込みについて検証する。

第26回 日本医療情報学会春季学術大会
シンポジウム2022 in せとうち

ビッグデータ再考

— 現在・過去・未来 —

会期

2022. **6.30** Thu - **7.2** Sat

会場

岡山コンベンションセンター

【大会長】

横井 英人

香川大学医学部附属病院
医療情報部部長

遠隔医療^{について}

ご興味をお持ちの先生方、
導入をご検討中の先生方は、
ぜひ本書をご活用ください。

ダウンロード
無料!!

遠隔医療の検討と 構築に向けてのステップ

～医師への調査と事例に基づいた
有用性のご紹介～

PHC
Healthcare with Precision

PHC株式会社

遠隔医療の検討と構築に向けてのステップ

～ 医師287名への調査と事例に基づいた有用性のご紹介 ～

近年、高齢化の進展が続く中、国内においては医療の需要が拡大の一途をたどっています。このため、医療従事者の過重労働や専門医の不足、へき地などの医療資源に乏しい地域への医療提供のあり方など、限られた医療資源をいかに効率化に結び付けるかが喫緊の課題となっています。これに対し、専門医の少ない医療機関と遠隔地の専門医とをオンラインでつなぐ遠隔医療の有用性が期待されています。

本書では、下記4点を中心にまとめております▼

【Part1】遠隔医療について知っておきたいガイドラインや診療報酬等の基礎知識

【Part2】遠隔医療システムを活用されている2事例：周産期医療、へき地・離島での医療

【Part3】医師287人に対するニーズ調査結果とその考察

【Part4】遠隔医療システム導入のポイント

↓ 本書のダウンロード方法

1. QRコードを
スマートフォンで読みこむ



https://bit.ly/medicom_jami2022

2. フォームに
メールアドレスを入力



3. メールアドレス宛
に本書をお送り

